

【内容確認用】

平成27年度 第5回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成28年 3月24日（木）午後1時30分～午後4時00分
2. 場 所／平田総合支所 302号室
3. 出席者／
 - (1) 1号委員（団体推薦委員）
岩間政幸委員、阿彦健委員、長谷部信勝委員、後藤純委員、
長谷部耕次委員（会長）、池田知子委員、佐藤みさ子委員、阿曾彰委員
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 8名
 - (2) 2号委員（識見委員）
阿部重敏委員、石黒由香委員（副会長）、佐藤鐵喜委員
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 3名
 - (3) 3号委員（公募委員）
藤原幸雄委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 1名
 - (4) 酒田市
酒田市役所 永田斉地域振興調整監、
平田総合支所 阿部亨支所長兼地域振興課長、佐藤栄一建設産業課長、
地域振興課 富樫好課長補佐、太田英一地域振興係主任・・・・計 5名
出席者合計17名
4. 欠席届／菅原長昭委員、久松司委員、高橋栄子委員 欠席者 3名
5. 次 第／
 1. 市民憲章唱和
 2. 平田地域協議会
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 支所長あいさつ
 - (4) 会議録署名委員の選任
 - (5) 協議
 - ①平成28年度 平田地域づくり予算について
 - ②平成28年度 行政組織機構の見直しについて
 - ③市長報告会への案件について
※「平田地域協議会から出された意見・提言に対する対応調査」
 - ④地域課題について

(6) その他

(7) 閉会

6. 会議録／ (1) 開会

▶富樫地域振興課課長補佐

これより平成27年度第5回平田地域協議会を開会します。
よろしくお祈いします。
最初に会長あいさつをお願いいたします。

(2) 会長あいさつ

▶長谷部会長

みなさんこんにちは。

あとわずか4月、年度で言うところの平成28年度になります。

その平成28年度の予算も酒田市の議会も終了し、予算も確定した
ものと思っております。

そしてまた、皆さんの手元にあるように地域づくり予算という内容も
現れております。

これを見て、平成28年度、27年度で比較対照をして見てみますと
0.5%のマイナス部分が含まれているようです。

今までの予算を見ても前年度より新年度の予算が増えて行ったとい
うのを見たことが無く、ずっと減額予算が進行してきております。

考えてみますと、この予算を我々地域協議会も決まったのでよしとし
て認めて来ていますから、事業内容に対しては今さらひっくり返すとい
う事も大変ですけれども、こういう状況を踏まえて将来の旧平田町の有
り様を守っていけるかどうか、これがこれからの地域協議会に課せられ
て課題だと思います。

平成28年度はもうすぐスタートしますので、29年度についても皆
さんからそういう認識の下で、この地域を、地域協議会というこの委員
の方々の意識をどう高めて、現実を見て議論をしていくかというのが、
これからの課題だと思います。

そういう意味合いも含めまして、今回の地域協議会を開催しておりま
すので、皆さんの活発な意見をお願いいたします。

(3) 支所長あいさつ

▶阿部支所長兼地域振興課長

本日はお忙しい中、皆さんより出席いただきまして、ありがとうございます。

東京では21日に桜が開花したという情報も出ておりました。

日和山公園の桜は4月9日頃開花で、15日頃に満開を迎えるという
予想がされているようで非常に楽しみです。

市では3月21日に人事異動の内示がありました。

新聞等の報道でご存じの方も多いたとは思いますが、後ほどその他の方
で報告をさせていただきます。

地域協議会は本年度5回目ですが、年度最後の開催になります。

本日は平成28年度平田地域づくり予算と行政組織機構の見直しにつ
いて報告をさせていただきます。その後、市長報告会への議案を協議
させていただきますので、どうぞよろしくお祈いいたします。

(4) 議事録署名委員の選任

▶長谷部会長

それでは次第にありますとおり、会議録署名人の選任に入ります。
事務局。

▶富樫地域振興課課長補佐

会議録署名人については名簿の順番でお願いしておりますが、今回は5回目ですので上から順番に行って、後藤純委員に5回目の議事録署名人をお願いしたいと考えております。

▶長谷部会長

いま事務局から提案のありました後藤委員にお願いする事でご異議ありませんか。

— 一同、異議なしの声 —

▶長谷部会長

それでは事務局発表の通り、後藤さんをお願いしたいと思います。

(5) 協議

①平成28年度 平田地域づくり予算について

▶長谷部会長

それでは協議に入りたいと思います。

まずは1番目の平成28年度 平田地域づくり予算について、事務局の方から説明をお願いします。

▶阿部支所長兼地域振興課長

▶佐藤栄一建設産業課長

— 平成28年度 平田地域づくり予算についてそれぞれ説明 —

▶長谷部会長

いま、執行部より説明いただいた訳ですけれども、この内容について何か意見ございましたら出していただけます。

簡単に言いますと、支所長のほうからもいまありましたが、廃止の所が2つ大きく有りますが、これを合わせると44万2千円ほどありますので、全体の前年度からの減額分の51万5千円から見ると、ここで相当額が占めていたというのは分かるのですけれども、ただ我々協議会の内容としてリニューアルと新規というものが一切ここに表れていないという事ですね。

既存のものを踏襲してそのまま流していただくという意識的なものなのか、やはりこれからこの地域のありようを考えて何か新規、リニューアルというのが無いのか、このへんも皆さんから考えていただきたいと思います。

▶石黒副会長

一番最後に説明していただいた(3)の金額についてですが、今年が入っていないのだけれど、昨年度の141万には別枠も入っての141

万ですか。

▶佐藤栄一建設産業課長

その通りです。

ですので、実質的には4万の増と言えます。

▶石黒副会長

わかりました。

▶長谷部会長

ちょっと聞きたいのですけれども、プラス予算になっているところ。

地域振興事業の中の映画事業、これは金額にしては1万2千円の増額ですけれども、この要因は何ですか。

それから一般消耗品費の中のプラス1万4千円、それから生涯スポーツ事業の中の一般消耗品費、プラス2万9千円というふうに乗っかっていますけれども、こういうような部分の増額、金額的に少ないので鉛筆と紙だといえればそれまでなのでしょうけれど、やはりここには精査をされた予算増額をしなければならないということだったのでしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

映画事業につきましては、映画上映の時のポスターとかの印刷代を。

映画自体は別の映画愛好団体が主催しているのですけれども、そこに援助しているというような形で、印刷費が上がっているというような関係で、その分を増額要求して認められたという事です。

消耗品費につきましては、タイムカプセル事業の分を全部引かれてしまうのはどうかという事で、他事業と被さっている部分もありますので、そのあたりも含めて、その辺で上げてもらったという事ですし、生涯スポーツの所も同様の形で、備品までいかない消耗品的なものを揃えたいという事もあり、上げてもらいました。

▶長谷部会長

いま、支所長の答弁にありましたけれど、この内容で皆さん納得いただけますか。

それから、里山さかた交流人口拡大事業というのがありますけれど、この中でプラス予算になっているのは、開催委託料が1万3千円とありますが、これはやはり1万3千円くらいは去年の物価から今年の物価を見ると、どうしても上がらざるを得ないという根拠の積算ですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

委託につきましては、ひらた里山の会の方に委託をしていて、登山の随行指導ですとか、教室のメニューの指導ですとか、そういうものをしていただいております、その実績などを踏まえて、来年は例えば登山の随行指導員を増やしたいですとか、そういう事で予算を積算して少し増やしてもらいました。

▶長谷部会長

ほかに皆さんからありませんか。

無ければ、この皆さんに渡っている資料通りの実行予算ということで、地域協議会では認めるという事でよろしいでしょうか。

－ 一同、同意の声 －

②平成28年度 行政組織機構の見直しについて

▶長谷部会長

続いて、行政組織機構の見直しについての説明をお願いします。

▶阿部支所長兼地域振興課長

－ 平成28年度 行政組織機構の見直しについて説明 －

▶長谷部会長

いま、一連の内容について説明をいただきました。

これについて皆さんから意見をお伺いしたいと思います。

なにか分からない所、聞いてみたい所、ございませんか。

▶後藤委員

この情報というのは、自治会長さんであるとかコミュニティ振興会ン会長さんであるとか、みんな知っている話でしょうか、それともこの場にいる私たちだけが知っている事でしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

直接には行っていません。

コミュニティ振興会など、これからまた会議がありますので、その際に説明をしますけれども、自治会長さんたちは四月の初めに自治会長会がありますので、そこで説明をする予定です。

▶後藤委員

では、直接我々からは情報を流さなくても良い訳ですね。

▶阿部支所長兼地域振興課長

良いと思います。

▶長谷部会長

ほかにございますか。

▶藤原委員

この組織機構の改編に伴って、職員の数の移動等もあるのでしょうか。総体として、で結構です。

▶阿部支所長兼地域振興課長

後ほど答弁いたします。

▶藤原委員

はい、お願いします。

▶長谷部会長

他に無ければ、私から質問ですけれども。

実はこのあいだ商工会の理事会がございまして、そこに商工観光部の部長さんからもおいでいただいて、この地域の観光事業の有りようというものがこの機構改革の中に入って来て、新しい展開をしていかなければならないと。

と、いう事は国を挙げて観光客誘致して相当の人数の増大を目標としているわけなので、その中に外国船クルーズの対応だとか、新聞も、昨日だったか一昨日だったかも会議があったようですけど、そういうものも含めて機構改革をしていくのだと、こういう話合いになりました。

こうやってみますと、その要素も多分含まれているようすし、部長の説明とも合致している部分もあります。

それで、この地域の観光資源というのは、果たして人を呼んで、これだと言えるような観光資源の再確認といえますか、これをやってもらいたいというようなものがあつたのですけれど、その中で古い歴史的なものの調査でそれを証明して、文部省の認定をいただくという行動に入った時に、いままではここに文化財係というのが表面に出て来ましたが、これになるものは教育委員会の場でかなりな、予算の内容は我々には見えていないのですけれど、これは結構あるのでしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

予算はそれなりに有るのでしょうかけれども、実際の使い方は分からない状況でございます、

▶長谷部会長

これはむしろ市民の中からどんな要望があつて、どんな行動が伴っていくかによって変わっていくので、一方的な、予算がこれだと言うしかいまのところは無だと思うのだけれど、ただそれが市民の中から要望があつた時に使えるようなシステムになっているのか、応えてもらえるのか、まずここが一番だと思うのですよ。

ですから、そういう事も含めてこれから地域の観光のありようをやっていかないと。

旧三町は何で観光事業で、何で経済効果を上げるかといった場合に、そういうものの底辺意識を捉えておかないと行動が出来ないという環境にある訳ですから、この辺も皆さんから、いやうちは観光とかは関係ないではなく、地域全体の振興策として皆さんから取り組んでいただければありがたい。

予算的な部分がはっきりしないのであれば、今後の内容精査をして、ある条件の所で執行部の方から発表してもらいたいな、と思います。

他に何か有りませんか、無ければ今、ここで聞いたこの内容で良しとしていただけますでしょうか。

— 一同、同意の声 —

③市長報告会への案件について

※「平田地域協議会から出された意見・提言に対する対応調査」

▶長谷部会長

続いて、市長報告会への案件についてが議題になります。

この文書にも書いてありますけれども、地域協議会から出された意見、提言に対する対応調査という資料を皆さんにお配りして、当日お持ちくださいとして案内をしておりましたが、平成17年から27年まで行動

された内容を出してあります。

ものによっては途中から出ていないもの、あるいは途中抜けて26年まで出ているものもあります。

中学校統合といった教育委員会関連などの問題については、一般行政と違うので、重視しないとは言いません、教育に関する問題はいかなる時でも重要な課題ですから、しかし、結果が出たというのは私はごく当然なことと思っております。

これを除いた部分の、どこがどう変わったのかについて、執行部把握しているものがあれば報告願います。

もう一つ、私から。

調整監が来ておられますので。この中で本所のほうで議論された経緯はありますか。

▶永田企画振興部地域振興調整監

毎年、提言をいただいている訳ですけれども、それは必ず担当部局、担当課に連絡が行きまして、対応状況などを確認して、あるいは対応をする、またはそれに基づいて次年度の予算に反映をさせる、ということで、必ず提言された内容につきましてはそれぞれの管轄の部署で議論はされております。

▶長谷部会長

いま、調整監の方からそういう議論はされているということで答弁ございました。

そうしますと、これから市長に対する意見書などを集約する訳ですけれども、前回の現在の部分、どこの部分がどうなっているのかを私は出していただきたいなと思います。

ここまで進んでいるのに、なぜあなた達はそれをぶり返すのか、と言う事にもなりかねませんので、それは調整監、出来ますか。

▶永田企画振興部地域振興調整監

多分、この表にありますとおり、各項目提言をされて、それに対してはこの右側の欄にございますとおり、現状と対応状況などをここにまとめているところですので、これを参考にまた検討していただければと思います。

▶長谷部会長

いま、調整監の方からそういう答弁がありました。

皆さん、それでは資料の右側に現状と対応状況がある訳ですので、これを読んでみてどうでしょうか、市長への報告会についてこの中から集約してまとめて出すというのが浮いてくるのか、これだけ議論しても結果が出ていないので、これを落として別項目に換えるのか、この辺の検討が課題だと思います。

これはじっくり時間をかけて皆さんから協議をしていただきたいです。

こうやってみますと、継続はしているけれども、さっき私が話した中学校の統合なんかは完全なる結果を得ている訳ですよ、それから田沢小の耐震診断の対応、これもある程度の結果は得ています。

では、あと他に何が、皆さんからこれは結果が良くて一般市民の生活の中に効果を発揮しているというものがみなさんから読み取れますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

会長、よろしいでしょうか。

この中で中段少し下にある、高速道路と県道の接続というものがありまして平成27年11月14日に開通予定というふうになっていて、ここ「については当初分りにくいか心配された訳ですけども、大きな事故とかは聞いておりませんので、これからは交通安全面でのいろいろな注意だとかそういうところは必要だとは思いますが、ここの提言という意味においては、もう良いのではないかなと言う感じがしますし、中学校の統合につきましても、いま順調に活動されているようですので、その他で例えば不都合があるとかということを知っているとすれば、それは統合とは別の学校運営の問題でしょうから、これは閉じてもよろしいのではないかと思います。

それから田沢小学校につきましては28年度に、耐震工事の設計委託が予算化されております。そのまま引き続き対象になる建物が3つほどあるので、その辺の28年度に設計を完了して、翌年から工事を進めるということで聞いています。

それをちゃんとしてくれとうことでまた挙げるのは良いかもしれませんが、その辺の判断をこの3つにつきましては私の方でも感じておりますので、検討をお願いしたいと思います。

▶長谷部会長

いま、支所長から説明がございました。

これは皆さんご承知の通り、高速道路の小牧のところのインター。

あれも出来あがって供用している訳ですから、これもよしとしますけれども、また、田沢小学校の方も平成28年度事業で展開されるという内容を、支所長がいま言いましたのでこれも大いに期待しやって頂きたいということで、この2点は省いて良いと思います。

▶阿部（重）委員

この項目の中で、空き家対策が出ているのですが、来年度からかなりの交付金等の申請をすればということで出るはずなのですが、いま考えてみますと、空き家の数が凄く多いのです、うちの方でも。

それで、あの金額で責任を持って空き家を見守るとするのは難しいのではないかなという話が出ているのです。

見守る所の戸数の多いところには、それなりに助成していただかないと責任を持って見守るという事が出来ないのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

いまの件はコミュニティ振興課を通して自治会への交付金を、かつて補助金だったものが交付金という形に代わって、申請も報告も簡単になるようにという事で変わっています。

その中で、空き家対策という事で、全体の戸数の5%で5戸以上あるという自治会に対して見守りのための上乗せのお金が1万円なんです。

それについては私たちも少ないというふうに思っていますし、その基準に満たない自治会さんでも見守り、見回りと言うのはどこでもやっている事なので、そのあたりももう少し考えて欲しいかなとは思いますが、実際に決めたのはまちづくり推進課の方の算定ですので、これ

について、29年度に向けてはもう少し要望を出していこうというふうには思いますけれども、とりあえず28年度についてはこれでいくというふうになると思いますので、これからも実際に活動をしながらどういう点が問題なのか、それぞれ教えていただければなと思っております。

▶阿部（重）委員

実はですね、これは報告もしなければならない訳で、月に1回程度見守るという事だったんです。

何人かで見守って、1年間見守って1万円、果たしてどうかなという気持ちでおるのですけれども。

うちの自治会ではまず1年は、そんな責任を負わせられるのならそのままにしておこうというような意見が出ています。

▶長谷部会長

阿部さん、これはここに書いてある通り、市条例などで対策を講じていると表現されていますので、その講じている内容は相当の地域コミュニティにそれは出ているのでしょうか。

▶阿部（重）委員

自治会で一回出ました。

▶長谷部会長

では、各自治会でそのあたりは把握しているのですね。

▶阿彦委員

ちょっとお聞きしたいのですが、市として各集落の空き家の実態。住所の有り無しとか、人がいるとかいないとか。

そういうのを具体的に把握していますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

知っているかというより、各自治会にお願いをして調べていただいたものがまちづくり推進課で持っています。

▶阿彦委員

担当の方が現地に行って、一回でも良いですから、行ってどういう状態になっているのかというものは写真であるとかそういうのは取っているものですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

写真は全て撮っています。

それと、出て行くときに例えば自治会の方にどこどこに行くとか、そういう連絡があるものについてはそれぞれ自治会のほうから連絡をしていただいて、適正な管理をしていただくように持ち主に連絡しているわけですが、それが相続、また、相続と回っていったり、あるいは売買されたりといった事で、地元で探せないような空き家があるんですけれども、そういう場合に、まちづくり推進課の方で固定資産税の課税状況などの中から連絡先を探すなどして、連絡をつけるなどの対応をすることになっております。

▶岩間委員

よろしいでしょうか。

これは平成28年度に向けての事だと思うのですけれども、この提言ありますけれど、これに足すことが可能なのでしょうか。

内容の補足ですとか。

と申しますのが、私の専門分野としては農業関係ですとか、自然を活用した胎蔵山関係の集客、交流人口を増やしていくことであるとか、そういったものが私に課せられた使命だと思っているのですけれども、それに関しまして農業関係の、農地水環境保全会の席上に白崎部長からおいでいただきまして、いろいろ議論いただきました。

その中で私もいろいろ言いたい事を言った訳ですけれども、前から仮称・冷水米について、山谷地区のそれを優良販売するための具体的な提言をいろいろお願いしていたのですけれども、升田米等々、その話も聞き及んでいますし、頑張っているのは分かります。

それはそれとして良いんですけれども、私が言いたいのはそれと並行して、当然JAとタイアップにはなるでしょうけれども、行政を含めてマスメディア等々を利用した冷水米の宣伝を、ですね、それをやって頂けないでしょうか、全国的な展開として。

いま良くありますよね、V26はえぬき、とかポツと宣伝をやって頂くと結構効果的なのですよ。

業者は当然安く叩きたい訳ですけれど、一般消費者から引き合いの強い商品になればそれなりに高く回って来る訳ですよ。

やっぱりいまやっている升田米、げんげん米、いろいろありますけれど、それだけでは1,000円、1,500円の差は付いてこないのかなと思います。

いま、つや姫等々の商品を展開して良い単価を付けていますけれども、やっぱり全国展開したからで、あの品種を開発したのは山形県です。

山形県の予算を使って開発して、他県にそれを利用してもいいよ、どんどん増やしてくれとやって、いまの結果がある訳です。

非常に良い成功例だと思います。

一部には、何で山形の金を使って作ったものを、他にそんなに簡単にやるのだとそういうご意見も有りましたけれども、それを振り切ってやって、結果として良い成果を収めていると。

それをなぞれば良いわけであって、要するに日本全国に冷水のリスクを持っている所はいっぱいある訳ですから、そういうところと資金を出し合って、マスメディア等のコマーシャルを組むのは十分可能だと思います。

それで地域のベースアップを図って頂きたいと。

それを願うするときの詳細の方に、これまでの対応と今後の対応という物があるのだと思うのですけれども、前回のを見えていますとだいぶこの冷水米に対するトーンが下がって来たのかなと思ったものですから、いま敢えて申し上げているのですけれども、そういうところを並行して強力に主張していただきたいと思います。

やっぱり、中山間地の農地を守るために、いろんな事を言われていますけれども、実際的にどうやって金を注ぎ込んで農地を守っていくのか、それは是非とも現実味を持っていただきたいという事です。

それともう一つ、このあいだ5月3日の胎蔵山の春祭りということで、ご神体の背負い上げを広報の方にPR原稿をお願いしました。

そうしたところ、いままでと違った感覚がありました。

今までだと、薬師如来だとか、あるいはいろんな言葉を使うと、それは宗教的絡みがあるからいけませんよ、ということでカットされたという事があったのですけれども、今回は快く掲載してもらいました。

大変有りがたいことで、それもこの酒田市がこういうものを地域資源として見ていただけるようになったのかなと思っておりますけれども、是非とも、もっともっとアピールしていただいて、観光に結び付けて、それもマスメディア等々流していただいて、近い将来には大型バスでもって背追い上げに来るようなそういう流れをどんどんアピールしてもらいたい。

そして、それを受け入れて行って、酒田市にお金を落としてもらおう。

それが中山間地の活性化に繋がるのではないかなと思いますので、この中に詳細があると思いますけれども、その中に盛り込んでもらいたい。

▶長谷部会長

いままで出てきたこの資料の精査ということでお願いします。

岩間さんがおっしゃった農業問題等については後から資料を準備してありますので、とりあえず今ここでは、いままで出されたことでの議論をお願いします。

この中でも、ほぼ完成というものについては除外して良い訳ですけれども、何年経ってもこのままのもの、調整監に言わせると議論は進めていますよと言うのだけれど、ここに出ているこういった表現で皆が納得出来るかどうか、これで納得出来ないとすれば、どこの部分を継続するのか、これには触れないで全く新しいものを出していくのか。

このへんのところをまず出していただきたいと思います。

▶岩間委員

分かりました。

それに絡んで言ったつもりでしたけれども、後々そういった項目があるのだとすれば、またその時に同じく発言します。

▶佐藤（鐵）委員

中山間地の拠点として、仁助新田にある生涯学習センター、そこを拠点としてとなっていますけれども、自分の事で申し訳ないのですが、里山の会としては、やはりあそこを拠点に中山間地をどうやっていくのかと。

にぎわいを取り戻すというのはなかなか大変なことだと思うのですけれども、我々はそこを拠点に活動して行きたいという事で、管理運営部門を里山の会が業務委託を受けてやっているわけですけれども、それを委託しているのが教育委員会の社会教育文化課、先ほど地域づくり予算の中で里山さかた交流人口拡大事業は総合支所の地域振興課がやっているということで、われわれはそこで何か情報発信をしたい。

しかし、社会教育課は業務委託以外の部分はやってはいかん、いや、いかんとは言わないのだけれども、例えばパソコンでメールや、インターネットをしたいとなれば、それは何に使うのかと。

こういうことであれば、余計なことをするなよと言わんばかりだと受け止めざるを得ない。

前は、地域振興課、平田町時代、酒田市になってからもですけど。

そしてその後、社会教育課の方に行った。

支所長、これは支所の方に戻るとか、そういうような方向は無いですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

無いとは言えませんが、いま、小学校とかの統合が盛んにおこなわれており、廃校舎というものが八幡にもありますし、松山にもこれから出て来る訳です。

中山間地のにぎわいを取り戻すというか、にぎわすということで活用していくというところでは八幡でも考えているようですし、それぞれに出来れば、それはそれで出来るんでしょうけれども、例えば酒田市の中山間地域のにぎわいを生涯学習センターだけで出来るのかということ、それは難しい訳なので、市に一つの施設と言う事でいけばかなり難しいというふうに思いますけれども、先ほど言ったように他の地域でも同じように向かうとなると、同じことを三つでやっているということになってしまうということで、このへんの調整は少し必要だなと思います。

ただ、施設を業務委託でなく指定管理にしていくということを、社会教育文化課と話をしながら向かうという事になるには、社会教育としての指定管理はあまりそぐわないというふうになると思いますので、移管されるという事も十分に考えられます。

そのあたりはこれから協議していきたいと思います。

▶長谷部会長

皆さまより、いろいろな意見が出ているようです。

それでは、これだけに時間を割くわけにもいきませんので、この問題については執行部と会長、副会長と合わせてもういっぺん調整させていただきます。

総花的な形ではどうしても分散してしまいますので、重点を絞った形で、三年先には答えを出してくださいという意思表示をしっかりと出すような感じで行きたいと思います。

それでは、これで良しとしていただけるなら、次の課題はこれに準ずる以上の課題があります。

それは合併後、現在の旧平田町の状況としてどうしても解決して行かないとこの地域の発展、将来が見込めないというものがあります。

本来はこれを解決して合併をしなければいけなかったのですが、ちょっと高揚しなかったというか、取り残されている状況です。

▶阿彦委員

会長、すみません。

意見発表しそびれたもので。

これまでの地域協議会のなかで、それぞれの委員から意見、要望が出て来ていると思うのです。

すぐに解決できるものから、検討が必要なものまである訳ですが、そういうものを事務局では取りまとめているのか。

もちろん、議事録としてはいただいていますけれども、そこから必要項目を引っ張り出した形でまとめると見えて来ると思うんです。

中山間地域の活性化なんて、だいたひ資料としては載っていますけれども、この中でも実際に要望として出している物がこの中にあるはずですよ。

例えば、私の所属している東陽コミュニティなんかは、生涯学習セン

ターの調理場を拡充すればもっと使いやすくなって、利用が増えるのではないかと。

あとは、楯山の市道のラインについても、あそこは危険だから何とかならないかという話だとか。

そういったことの返答を含め、内容をピックアップして意見として出ているのかどうか。

▶長谷部会長

先ほど調整監に、ここの検討内容をまとめたものがありますかと言ったのはそれなんです。

結局そういうのが出たものについては報告を出してもらわないと、同じ事を二段、三段と繰り返して要求するというにもなってしまいますから、それは省いていってだんだん減らしていかないといけない。

そのためには相手方の行動も把握して行かないとダメな訳ですから、それをいま、議論の対象にしたいなと思っております。

▶阿彦委員

そうですね。

一年間に出た意見の中から、検討も含めてしていただきたいですね。

そうでないと、何のために集まっているか分からない。

▶長谷部会長

執行部、どうですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

資料としては、議事録だけというのが現状です。

要望に関して言えば、即時対応出来るものは対応しておりますし、生涯学習センターのような件に関して言えば、継続して要求はしておりますが、今後についても継続して要求していくのかも含めて、この場でお話をしたい。

▶長谷部会長

どうですか皆さん、いま支所長からそのような意見が出ました。

ここでこれだけは、という項目についてピックアップしますか。

しないとまた、そのまま行ってしまう訳ですから。

▶阿部支所長兼地域振興課長

平成26年度から27年度に繋げるという意味では、田沢小は外して、それと中学校は平成22年度からずっと項目に入っていないのでそのままが良いのだと思います。

これ以外で続けて行くという考えの中で、判断させていただいて次へ行きたいと思っております。

▶長谷部会長

皆さんから積極的に項目を出して貰えるならそれでいいです。

さて皆さんどうしますか。

▶佐藤（鐵）委員

ぜひとも、中山間地域の拠点として生涯学習センターの件は続けてい

ただきたい。

▶阿部（重）委員

分館の維持管理というのは、これは今どうなっているのか、続ける必要は無いのか、それとも続けて行くのかという、現在の進捗状況をお聞きしたい。

▶阿部支所長兼地域振興課長

譲渡されるもの以外は決まっています。

▶阿部（重）委員

では、これも継続していただかないといけないと思います。

▶阿部支所長兼地域振興課長

酒田鮭川間の道路については、いまは通行止めになっています。通行止めを早く解除して欲しいという要望はしているところです。この項目の中にも入っていた方が良いでしょう。

④地域課題について

▶長谷部会長

いま二つほど意見が出ましたけれど、他については再度検討させていただきます。

それでは、時間も経過していますので、次の課題として六ヶ村と農地機構の関連について皆さんに新たに提案したいのでよろしくお願ひします。

▶佐藤栄一建設産業課長

— 「六ヶ村排水路」検討経過（配布資料）について説明 —

▶長谷部会長

ただいま課長からは酒田市合併以後の六ヶ村事業と言うものの現状、状況をこの書面に表していただき、説明をいただきました。

この部分は平田町時代の平成8年から続いている問題ですが、そこが解決を見ないために、企業誘致を簡単にどうぞと言えない現状がある訳ですし、それ以外にも様々な弊害があります。

ですから、これを何とか改善しないといけないという話な訳です。

▶佐藤栄一建設産業課長

いま、会長の方から六ヶ村排水界限にかかる企業誘致の話が出ましたけれども、先ほど資料の説明にありました平成28年度の市単独事業にあります30万円の調査と言うのはあくまでも住宅地における浸水被害に関しての部分のみです。

以前一般質問でもあったのですが、平成19年度に国土利用計画の見直しを酒田市の方で行っておりまして、宅地化を抑制するというような見直しになっております。

コンパクトシティ、市街地を拡げないという事でもありますので、いまの酒田市の考え方としては国土利用計画の中にありましたので、調査の30万円と言うのはあくまでもいま現在、既存の建物における浸水被害を

抑制する対策のためのものであって、あらたに宅地造成ですとか企業誘致ということについては考えていないというところでございます。

▶長谷部会長

それぞれの役所でも立場によっていう事はちゃんと持っています、考えています。

ただそれだけ聞いていたのでは、結論が得られないということで我々は行動を起こすべきだという事が原点にあるはずで。

では引き続きどうぞ。

▶佐藤栄一建設産業課長

－ 平成26年度・27年度

農地中間管理事業について（配布資料）の説明 －

▶長谷部会長

一度ここで休憩をとりたいと思います。

－ 10分休憩 －

再開を致します。

先ほど建設産業課長からお話しいただいた件を中心に農業問題についての意見の交換をいたしたいと思います。

▶岩間委員

まずはこの中間管理機構について苦言を申し上げたいと思います。

だいぶ不成立件数が減ったという事で大変ありがたいことだと思います、感謝申し上げますが、やはり中山間地域については結構受けてくれない農地があります。

それはなぜかという、収量が上がらない、単価は同じということだと思います、そういう面もあろうかと思っています。

ですから、私が以前より申し上げているのが収量は上がらないけれど実際は美味しいのだよと言うふうになって、ベースアップすることについて消費者のご理解を得られれば、十分可能な展開が出来るのではないかと思います。

それがあれば、平場と対等に渡り合っていけると思いますし、だから言っている訳ですので、それをどこかに盛り込んでいただきたい。

それと、農地中間管理機構、銀行に例えますと借りない田んぼは受けてくれないという事になる訳で、とんでもない制度だなということで苦言を申し上げます。

中山間地は田は良い田なんだけれども、借り手がやはり敬遠するというのが実態であるわけで、そこで農地銀行である中間管理機構が小規模基盤整備でもやって、それを貸し手のほうから数年に渡って回収していくというような流れも必要なのではないのでしょうか。

詳細については詰めて行く必要がありますけれども。

▶阿部（重）委員

中山間の関係なのですけれども、我々中山間に住む者の収量というものは本当に少ないのです、ところが生産調整なんかは一本化されている

ものですから、収量の無い農地からそれ以上の収量をあげてやっとな積を消化するというような状況なので、そのあたりを何とか出来ないものかという思いであります。

▶長谷部会長

事務局何かありますか。

確かにいろいろ問題はあります。

もちろん、行政の方でも試行錯誤しながらも様々な制度のなかで少しずつ良い方向へ来ている部分も無くはない訳ですが。

ただやはり、阿部さんや岩間さんのおっしゃったような物と言うのはあるわけで。

例えば私も以前別のところで話をしたことがあるのですが、岩間さんのおっしゃったようなことに似ていますが、特別栽培米という形をやってみることは出来ないかと。

遊佐なんかは遊佐米といって経済連、食管法のある時代から40tという販売をしていて、いまでもそれを継続しています。

やっぱりそういうのを確立すると定着するのですよね。

そうするとその地域は安定した農業が出来る訳ですから、やっぱりそういう努力をしていかなければいけないというのも私は一つの要素としてあるのだと思います。

ですから、今日この農業問題と六ヶ村というものを皆さんの方にお願いをして提示しているのは、やっぱり市長の話し合いのときにそういう部分で中山間地農業をお願いの中に入れるかどうかということです。

執行部として特別何かないとすれば、この農業と六ヶ村についても入れていくという事でよろしいでしょうか。

▶岩間委員

六ヶ村排水路、これについては私が農業委員をやっていた頃からいろいろ改修してやっていますね。

今回またいろいろある訳ですけれども、それをやって何とかなのであれば反対するものではありません。

それから農地問題もいろいろ制度としては中山間地域に対してアンフェアな所があると言わざるを得ない部分もある訳ですけれども、それについては単価等でもって魅力を取り戻していくしかないのかなと思っています。

ですから、その為にお金を使っただきたいと思っています。

マスメディア等々を十分に活用していただきたい。

私も行く先々で話をしていきますので、こちらの方でもよろしくお願いをしたい。

(6) その他

▶長谷部会長

他にありますか。

無いようでしたら、その他の部分について。

▶阿部支所長兼地域振興課長

一 職員の人事異動予定

(地域振興課長補佐の異動内示等) について説明 一

▶長谷部会長

人事については以上のような内容になっているようです。

それでは、その他という部分で私から。

旧平田町時代にいろいろな行動をしてきた訳でありまして、いまは市有財産ですけども、前は町有財産だったものの売買に関わる問題です。

皆さんに分かりやすい説明をしますと、寿康園の前に相当広い土地がある訳ですね、あれはいろいろと道路の関係などで町時代に財産になったもので、いまは市の財産です。

それに対して、企業の方から取得をしたいとの話が出て来ている訳です、実態としては。

これは支所長や管財の方はそれなりに把握はしている訳です。

そんな中で、寿康園の方から将来的には寿康園の更新も視野に入れて行かないといけないし、いまの状況としても手狭になるし、もうひとつとしては、裏が山であることから水が出るなどの安全面などでも考えたいなという議論がなされているようです。

そういう事もあって用地確保をしないと物事を進める事も出来ないという事で、現実として寿康園がそこを展開したいというようでした。

そこまでは、今後の希望を出している企業とのやりとりになる訳ですけども、ただ私が話したいのは、こういうものは旧平田町時代に町民の税金と様々な交付金と、様々な努力の結果としてそういうものを得ている訳です。

ですから、そういう物の売買に関しては、優先的に解釈をしてもらいたいという事なのです。

それからもう一つ、これは執行部の方々からそこまで言うのという事になるかと思いますが、町有財産を売却した場合のお金が出る訳ですが、これを合併した後の状況から考えると財源が無い中で何を希望しても出来ないだろうという事で、町有財産は町民の税金や交付金等の様々なことから作りあげた財産であるので、その売却益は旧平田町に使うということをはっきりと謳って要望していくという事です。

こういう行動を取るべきだと。

なぜなら、そういうものが市の本部の方の財源に入ってきたら、簡単には平田には来ないと私は考えています。

だからこれはエゴと言われるかも知れませんが、酒田としては相当抵抗すると思います。

ですから、これを今度の市長と話しの時に入れていくと考えています。

▶阿彦委員

酒田市の一員として、旧平田町のものだから旧平田で使わせてくれという考えは、これからの考えには合わないと思います。

やはり共有の予算を通じて、市全体が共に一体化して発展していく。

例えば中山間地域の問題は平田だけでは無く、八幡や松山も同じような問題は抱えている訳ですので、そういった中でどこがという事ではなくて、平等に、同時にというのは難しいかも知れないけれども、きちんとやって頂くのが行政の仕事だと思うので、ここはもともと平田町の土地だからという事で地域協議会の名前で酒田市長に要望していくというのは次元の違う話ではないかと私は思います。

ただ、冒頭の方にあった寿康園の話の前土地にどうのこうのというのであれば、その話は賛同できます。

▶長谷部会長

結局そういうのが一つの例になって、では後の部分はどんなのということを考えて行くというのがある訳ですから。

▶阿彦委員

それを言ってしまったら、旧酒田市の方が遊休地とかがあったとして、土地の価格も高い訳ですし、資産価値は十分にあって、じゃあその分は旧平田にはよこさないぞという話にもなる訳です、逆を捉えれば。

そういうのはこの会で言うべき事では無いと私は、私の意見として思います。

▶岩間委員

これはもの凄く難しい問題で、いまここでバンと言われてここで答えるというのが難しいのではないかと私は思います。

言わんとする気持ちは分からなくはないのですけれど。

▶長谷部会長

他にはありますか。

▶藤原委員

考え方としては分かりますけれども、私はこういう考え方は諸刃の剣ではないかなと思います。

旧平田の住民が設置した、あるいは獲得したものだから、旧平田の方という考え方は、酒田市全体からもかかってくるのだと思うのです。

そうした時に、合併当時に市長や各町長が言っていた訳ですが、まずは全員で共有して、全員で全住民の幸せを培って行って分かち合っているということ、全てを一つにしてやって来た訳ですので、これを地域協議会の名前で要望していくというのはかなり問題があるな、と思います。

▶石黒由香副会長

結局、こういう統合合併というものは結婚したようなもので、夫婦のものというのは共有財産になっている訳です。

それを、これは私が結婚前に買ったものなのだからこれは私のもの、というふうにするのは結婚したら通じない訳ですし、最悪それが離婚の原因にもなりかねない訳で、それを言い始めたら何か歯車が狂ってしまうような気がするので、ましてこの協議会から発するべきものではないのでは、と思います。

▶長谷部会長

まあ、これありきという訳でなく、やはり皆さんを刺激するためには相当過激なことも言わないといけないわけで、いろいろと疑問意識をもって考えましょうという事です。

そして、こういうことを言わせないような行政の対応を作っていくという意味もある訳です。

もう一つ言うと、六ヶ村の排水に関して合併当時の市長にどうするの、という話をした経緯があるのですが、平田時代の計画は白紙にして、自分が計画したものでやっていくという話があった訳ですが、結局その場

その場限りの答弁しか頂いていないのです。

ですから、こういう事になっている。

私はそういうのはもう止めにしようと思うのです。

結局のところ何が大事かと言うと、それが平田地域の住民の幸せに繋がるものなのかどうか。

だから、私は多少エゴ的に、周りから批判があろうとも考えて行かなければいけないのではないかなと思っているのです。

まあ、皆さんからの意見も頂きましたので、いろいろ考えながら、市長への要望などは執行部と相談しながら準備をしてやっていこうと思います。

他に何かあれば。

無いようなので、副会長お願いします。

(7) 閉会

▶石黒由香副会長

長い時間お疲れさまでした。

これで、平成28年度第5回平田地域協議会を閉会いたします。

会議録署名委員 _____